

科目名	国語 Japanese	科目コード	20030
-----	----------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・3年
担当教員	今野 哲
区分・単位数	履修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義56，その他4】
教科書	『精選現代文改訂版』，大修館書店 『新編古典講読（物語・小説 評論 漢詩・思想 史伝）』右文書院（以上2冊は2年次からの継続使用）
補助教材	『カラー版新国語便覧新版初訂』，第一学習社 『形で覚える漢字の練習』，明治書院（以上2冊は購入済み） 『パスポート国語必携国語常識の演習と確認三訂版』，桐原書店（新規に使用）
参考書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典など

【A．科目の概要と関連性】

1・2 学年より高度な教材を用いて、総合的な国語力向上を図り、より深い人生観照の態度の獲得を目指す。現代文では、高度かつ多様な文章の読みを通して読解力を高め、古典では、古文・漢文の主体的な読解・鑑賞を通して古典に親しむ。人間・社会・自然等に関する考えを深め、人生を豊かにする態度を育てる。また、実践的な国語表現の力を養い、思索する力を伸長させる。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
文章の内容に即して叙述を的確に読み取る力を身に付ける。	-	(a1)
さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げる。	-	(a2・b1)
常用漢字の読み方・書き方に習熟する。	-	(b2)
文語のきまり、漢文訓読のきまりなどを理解する。	-	(a1・b1)
国語表現の特質を理解し、言語表現への関心を高める。	-	(b2)

【C．履修上の注意】

授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に、古文・漢文については、音読の練習を欠かさないこと。また、辞書や参考書を活用する習慣を身に付けること。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（80%）【内訳：前期中間20，前期末20，後期中間20，後期末20】

その他（20%）

【E. 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（1）	
2	現代文（随想・評論）の読解（2）	
3	現代文（随想・評論）の読解（3）	
4	古文の読解・鑑賞（1）	
5	古文の読解・鑑賞（2）	
6	古文の読解・鑑賞（3）	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（1）	
9	現代文（小説）の読解（2）	
10	現代文（小説）の読解（3）	
11	国語表現の実践（1）	
12	漢文の読解・鑑賞（1）	
13	漢文の読解・鑑賞（2）	
14	漢文の読解・鑑賞（3）	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

後期

回	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（4）	
2	現代文（随想・評論）の読解（5）	
3	現代文（随想・評論）の読解（6）	
4	古文の読解・鑑賞（4）	
5	古文の読解・鑑賞（5）	
6	古文の読解・鑑賞（6）	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（4）	
9	現代文（小説）の読解（5）	
10	現代文（小説）の読解（6）	
11	国語表現の実践（2）	
12	漢文の読解・鑑賞（4）	
13	漢文の読解・鑑賞（5）	
14	漢文の読解・鑑賞（6）	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	